

岩櫃城 群馬県吾妻郡東吾妻町

同城の築城時期や築城者は不明ながら中世に築かれた山城で、文献に初めて登場する城主は南北時代(1336-1392)の吾妻太郎行盛です。戦国時代、齊藤越前守の本城は武田信玄の家臣真田幸綱により落城、東吾妻は武田・真田の支配となり上田城と沼田城を結ぶ重要な位置を占めてきた。徳川開設後も真田の城として使われていたが、慶長 20 年(1615)の一国一城令で破却され役目を終えた。(説明版)



麓にある石標



同城の説明版



縦堀といっても想像するしかない



中城跡



二の丸跡



わずかな隙間から隣の山



豎堀跡



本丸跡



虎口といっても想像するしかない



水曲輪